

いしかれん だより

第26号

2000.11

石川県精神障害者
家族会連合会
〒920-0064 金沢市南新保町ル3番1
石川県精神保健福祉センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

巻頭言

矢田野ファクトリー 5ヶ月の歩み

精神障害者福祉工場矢田野ファクトリー

施設長 梶 義伸



社会福祉法人共友会
精神障害者福祉工場
矢田野ファクトリー
が5月9日にオープン
し、約5ヶ月を経過
いたしました。仕事の内

容は主として小松市近辺の旅館ホテルのタオル・シーツ等のクリーニングをしております。現在従業員は実習生を含め13名、職員は常勤と非常勤を合わせ計8名で運営しております。従業員は北は松任、南は大聖寺から自動車、自転車、JR北陸線を利用し通所しています。JR線での通所者は工場の最寄駅である栗津駅を利用しており、工場の職員が交代で駅までの送迎をしております。近い将来、グループホームが工場の近くにできれば遠距離の方の工場利用もできるようになると期待しております。

就労は可能でありながら、適当な行き先が見つからない、本人も困っているし、家族もやきもき心労ばかり、このような家族がなんと多いことか。職員として仕事を通じ痛感しているところでもあります。

幸い矢田野町の皆様の御協力をはじめ、家族会、国県、関係各位の支援により矢田野ファクトリーが出来ました。利用者が従業員として頑張っている姿を見て、ほっとしている家族も多いのです。私自身も従業員のさやかな笑顔に接し、仕事冥利を感じている今日

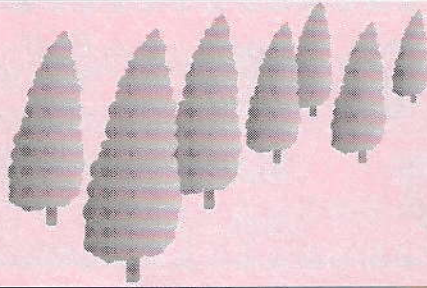
この頃です。

一人でも多く受け入れたい、という思いにかられますものの、福祉工場は就労の場という一つの機能を担い、一般労働者と変わらない立場が保障される施設であります。そのため採用試験にかわる体験利用（職務試行）や実習を行った上で、従業員としての採用・不採用を決定しております。同時に利用を希望される方にも体験利用や実習を通し、工場の利用を考えて頂き、専門職員と就労について考える機会としております。不採用となった場合でも、希望に応じて生活支援を含む継続的な就労支援を専門職員が行っております。

福祉工場は就労の場であると同時に社会復帰施設でもあります。利用者の方は専門職員の生活支援を含む就労支援、障害や疾病への理解がある中で就労されています。これから福祉工場での経験を活かし一般就労へつながってゆく方もおられるなど、福祉工場は一般就労の手前の場でもあります。それにもかかわらず一般企業同様の独立採算経営をしなければならない、という現実があり、そのため様々な困難を抱えているという問題があります。

精神障害者福祉工場が更に発展し、今後必要なところに出来、要望を満たすには矢田野ファクトリーを入れて全国12ヶ所の精神障害者福祉工場が抱えている困難な問題の改善、見直しが望まれます。

— 特集 —



精神障害

矢田野フ

見 学 記 (12.9.28)

Q. 工場の目的は？

A. 生活支援、健康管理等に配慮した環境のもとで仕事への自信、社会生活の自信を深め、自分らしく生活していただくための工場です。

立派な
福祉工場
だなあ！



▲敷地面積1754.90㎡ 延床面積833.50㎡

Q. 仕事の内容は？

A. 旅館やホテル等のタオル、シーツ、衣類等のクリーニングを行っています。



❖洗濯物搬入

- ・タオル等→せんたく（柔軟剤を入れて30分程）→乾燥30分程→たたむ→結束
- ・シーツ→せんたく30分程→乾燥10分→アイロナーで糊づけ、乾燥、アイロン掛け→たたむ→結束

（この日は欠勤者が多くて、職員総出で工場の仕事の応援をしておられました。）

Q. 給料は？

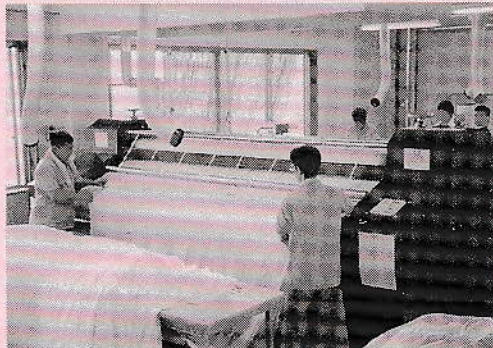
A. 石川県最低賃金636円を払っています。1日6.5時間労働ですので、1日4,134円になります。欠勤なければ社会保険料を引いて、手取り7万円～8万円になります。

Q. 従業員に昼食を出していると聞きましたが…。

A. 管理栄養士さんを中心に作っています。通所者の経済状態を考えて、1食300円で提供しています。（価額を300円に押さえるために施設長はじめ、皆さん大変努力して居られます）

Q. 正社員に採用されるには？

A. まず、職安の障害者窓口をとおして申し込んでください。その後矢田野ファクトリーで面接を行います。そして、工場で10日間の職務試行（体験利用）を行います。その後1ヶ月の職場実習を経て、この工場では正社員として働けるかどうかを見るトライアル雇用3ヶ月の実習があります。このトライアル雇用を終了して採用、不採用がまります。



▲アイロナー 2人氣持を合わせて

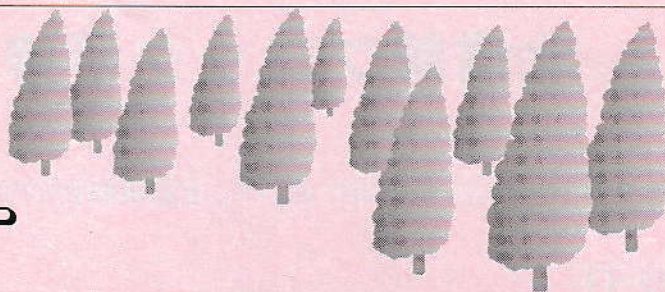
みんな
楽しんで
やっ
てるね



♥取材を終えて

- ・正社員に採用して貰うには、就労意欲、作業能力に加えて、一般労働者と同じく体力が必須条件なのですね。
- ・又、「最低賃金をなんとか維持したい」という職員の皆様の努力に頭が下がりました。
- ・取材を終えて、さわやかな緊張感が残りました。ありがとうございました。

（紺谷）



従業員(利用者)の声

①通所について ②給料について ③職場環境 ④人間関係 ⑤職員との関係
⑥クリーニングの仕事について ⑦レクリエーションなど望みたいこと につい
て、インタビューにこたえてもらいました。

従業員A氏



- ① 自転車通所。今はまだ良いが冬を心配してい
る。
- ② 授産施設に居た時より人間らしい給料に近づ
いた気がします。欲を言えばもう少し多い方が
良い。
- ③ 大変気に入っています。風光よし田んぼの中
でのびのびしています。
- ④ 良い人ばかりです。みな病気を理解している
のでマアママです。
- ⑤ 職員は体調に気を使ってくれます。他とちが
って施設長以下工場に出て一緒に仕事をしても
らっているのでありがたいと思っています。
- ⑥ 仕事になじんでいますので合っています。
- ⑦ バレーボール等スポーツもやってみたい。1
～2ヶ月に1回会食パーティがしたい。

従業員B氏

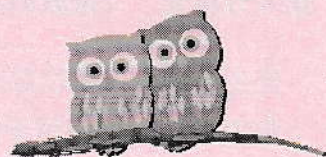


- ① 現在お父さんの出勤に合わせ、車に便乗して
送ってもらっている。今後はちょっと心配で気
になる。
- ② まあまあですがボーナスもほしい。
- ③ 良い所が出来て喜んでいきます。
- ⑤ よく相談にのってもらっています。
- ⑥ 自分のできる仕事ととりくんでいます。
- ⑦ 年1回程度旅行したい。

従業員C氏



- ① 自家用車です。20分程度の時間です。
- ② ありがたいと思っていますが家庭があるので
少しでも多い方が良いです。
- ③ 非常に良いと自分は思っています。
- ④ 仲良くやっています。楽しいです。
- ⑤ 体調が悪ければ休ませてもらうし、なんでも
相談できます。矢田野ファクトリーはトラブル
はありません。
- ⑥ 始めはまごつきましたが、熱さにも立ち仕事
にもなれて大丈夫です。
- ⑦ レクリエーションや旅行等うまく取り入れて
ください。



社会福祉法人 **共友会 矢田野ファクトリー**

〒923-0342 石川県小松市矢田野町ミ30番地

TEL 0761-44-5558

FAX 0761-44-7484

定員：29名

職員：施設長・ソーシャルワーカー・社会復帰指導員2名
(1名非常勤)・管理栄養士・事務員・医師(非常勤)
・看護婦(非常勤)

北信越ブロック研修会開催される

さる9月21・22日、長野市において、上記研修会が700名の参加を得て盛大に行われました。

9月21日

基調講演「法改正後の精神保健福祉活動のあり方を展望する」

三田優子氏

生活の主人公は障害者本人である。家族は何をすべきか、又家族会は何をすべきかを力説された。当事者はお金がないから、不平が言えないと思っている人が多い現実があるので、行政は先ず当事者の話を聴いて欲しい。家族はサービスをどの様に受けたいか、何を望んでいるのかを行政に聴いてもらって欲しい。そして、障害者であっても病気を持っていて1人の人間であり、自己決定が出来るという事を認めて欲しいという事等々の言葉が重かった。（宮井）

9月22日

当事者による発表「地域にこんなものがあたらいいのになあ」

『地域にこんなものがあたらいいのになあ』では、「話を聞いてくれる人」、「自分の中にある何かを引き出してくれるような話し相手」、まじめに愛情を込めて話してほしい。そんな人がいたらいいです。

また、さくら会の方の発言では「不安なとき、寂しいとき利用できる場所」「困ったとき、不安なときに相談できる人」「安定した地域生活を続けるために必要な制度」などがあたらどんなにいいことでしょう。とのことでした。（草開）



第4分科会 「家族のための生活技能訓練(SST)」

高森信子氏

先生を囲んで輪になり、先生と会話を交わすかたちで始まりました。

悩み苦しむ家族が子供とどうして信頼関係を作るか。基本的な考え方を学びました。

①こどもの出来ることを強みとを考えて、強みさがしをする。②つらさをわかってあげる。など、具体例をあげて話されたのでよく理解できました。いま出来ることを出来て当然とみるか、強みとみるかで親子の会話も随分楽しいものになり、回復を促すことを、SSTで学びました。（紺谷）

H13年度北信越ブロック研修会は、石川県で開催される予定です。

(予定) 開催日 平成13年9月20、21、22日

開催地 山代温泉 ゆのくに天祥

家族会が前面に出て運営される予定ですので、皆様のご協力をおねがい致します。

輪水会だより 目標に向かって…今できることから

1. 平成12年度目標

- (1) 1人1役の実行（定例会の司会等会員交替して行う）
- (2) 会員増加運動（1年1名増獲得展開）
- (3) ボランティア「ふたば友の会」との交流会の実施

2. 年間の動き

上半期（H12. 4～9）主に実施した行事

- (1) $\overset{\text{ゴ}}{5} \cdot \overset{\text{ミ}}{3} \overset{\text{ゼロ}}{0}$ 運動参加

5月30日 1本松公園清掃に市民一般の皆さんと汗を流した。

- ## (2) 定例会

毎月1回 家族学級（3回）定例会と共催
（内 門前会場1回、穴水会場1回）

8月25日(金)門前会場 (門前町福社会館)

主な意見・要望等

- 入院費は無料にならないか
- グループホームが欲しい
- 悩んでいないで話し合う、知恵を出し合う

- ### (3) 交流会

9月27日 七尾市ボランティア野の花会・ワー

クシヨップ野の花の皆さんが来市され、ワークショップふたば（作業所）で1時間30分程の時間でしたが情報交換や意見交換がなされ、有意義な一時でした。



下半期 (H12. 10~H13. 3)

- (1) 研修（視察）旅行（11月）
- (2) 穴水会場（家族学級）講師予定
- (3) 会報（輪水会だより）発行（H13. 1）
- (4) ボランティアふたば友の会との交流会（H13. 2）
- (5) 反省会（H13. 3）

(注) 予定ですので、入替もあります。



県下单会の皆様のご意見をお寄せ下さい。参考に供したいと思います。

トピックス

心のふれあい講演会 主催：ちよに会・石家連

平成12年10月18日 松任市民交流センターに於いて開催されました。

「こころの健康と住み良い地域をめざして」 講師 薬師寺 録事 大谷徹 氏
仏教の教えをとおして今大切なこと、社会のあるべき姿を説かれました。

人間の心の中には心の健康をみだす5匹の鬼が住んでいる。その鬼退治の話等を若さあふれる話し振りで、楽しく聞かせていただきました。

精神障害者家族会と病院長との懇談会！

H12年10月31日(火)PM1:30～3:30、石川県精神保健福祉センターに於て懇談会がもたれ、120名の家族会員が参加されました。

はじめに、「再発を防ぐには」と題して、石川県立高松病院診療部長浜原昭仁先生より講話がありました。病気のため家族がうける影響や考え、病気の特徴そして接し方について日常の会話のコツなど大変わかりやすく話されました。

懇談会では、最新の薬として陰性症状にも効果のあるリスパダールの説明があったり、再発防止や障害者の高齢化に対する病院のとりくみ等について、医師やソーシャルワーカーよりていねいな応答があり、障害者をとりまく医療保健福祉が少しずつ充実してきていることを感じました。

手帳サービスの拡大を求める200万人請願署名運動

——ご苦労様でした——

国会提出は11月が予定されており、10月28日ぜんかれん到着分をもって署名運動は終結しました。

最終署名集約数は22,183人で石川県の目標20,000人は達成されました。

お知らせ

精神障害者家族会全国大会（静岡県）

開催日	11月16日(木)・17日(金)
場所	グランシップ（静岡コンベンションアーツセンター）
問い合わせ先	054-273-7310（静岡） 03-3845-5084（東京）

編集後記

- この号では矢田野ファクトリーの特集を組みました。記事取材の折、親切に説明して下さった職員・従業員の皆様、ありがとうございました。福祉工場のすばらしさと、きびしさが伝わってきました。「単会活動報告」に輪水会のみなさん、ありがとうございました。他の会もご協力をお願いします。（紺谷）
- 2年間にわたってくりひろげられてきた手帳サービスの拡大を求める請願署名が目標の2万人を達成しました。近年こんなに嬉しいことはありません。署名をして下さった多くの方々に感謝!!（浦田）